# 決 算 報 告 書 

第 26 期

自 令和元年4月1日

至 令和2年3月31日

## 株式会社 川西水道サービス

兵庫県川西市滝山町 17 番 8 号

目 次
事 業 報 告 書 －－－－－－－－－－－ ..... $1 \sim 3$
貸 借 対 照 表 ..... 4
損 益 計 算 書 ..... 5
腹売費及び一般管理費 －－－－－－－－－－－－ ..... 6
製 造 原 価 報 告 書 ..... 7
株主資本等変動計算書  ..... 8
個 別 注 記 表 ..... 9
監 査 報 告 書 ..... $10 \sim 11$
財 産 目 録 ..... 12

> 第26期事業報告書
> (令和元年4月1日加ら令和2年3月31日)

## 事業概要

## 1．事業の経緯

日本の経済情勢は，国が積極的な経済対策等を強力に推進し広く展開したでとにより，雇用•所得環境が改善され，経済の好循環の前向きな動きが生まれて始め，景気は穏やかに回復していますが，令和元年の消費税率引き上げにより個人消費は低迷しています。一方，米中の貿易摩擦の激化，英国の欧州連合離脱，新型肺炎（新型コロナウィルス感染症）の桩大による中国経済の下振れなど世界経済の不確実性や金融資本市場による影響に留意する必要があります。
川西市では，第5次総合計画後期基本計画（以下，「基本計画」そいら。）そおいて，めざす都市像の実現に向けて各施策に取り組んでいます。更に，人口減少や価値観の多様化など速い時代の流れを把握 し，住宅都市としての魅力的な街であり続けるために，第2次川西市総合戦略を作成し推進しようとして います。
水道事業では，新水道じジョンにおいて，基本計画の「安全で安定した上下水道の環境整備を促進 する」」いら施策に添って，老朽化した施設の更新と耐震化を引き続き推進しています。
当社は，この新水道ビジョンの基本理念「安全な水道水を安定して送りつづけるために」に基づき，水道施設の修繕，漏水調査，鉛給水管改良，夜間•土日祝祭休日の24時間待機業務等，受託した業務 を迅速且つ正確に処理し，水道事業に貢献できる会社として努力を重ねています。
鉛給水管改良においては，残存率の減に向けて，効率性の悪い小規模工事等を引き続き受託し忠し た。
令和元年7月の台風15号，19号の接近時には，水道権設への影響を配慮し，社員による24時間待機態勢の強化を図りました。
令和2年1月•2月は暖冬の影響で，寒波襲来による水道メーターの大規模な涷結破損は生じませんで したが，市民生活には支障が出ない体制は整えています。
また，宅地内の微量漏水に対して，音聴棒等で発見困難な漏水箇所を特殊な機器（水素ガス）を使用して発見する業務（41件）を市民に安価で提供することにより，公益性を果たしました。
経営状況については，当期事業実績は，530，162千円で，対前期比 29,490 千円 $(5.3 \%)$ の減収となりま した。
主な要因としては，メーター取替業務収益•舗装復旧工事収益•鉛給水管改良工事等の減額でありま す。
製品製造原価369，571千円で対前期比23，032千円（5．9\％）の減となり，販売費及び一般管理費は， 150,080 千円で $(2.1 \%)$ の減額となりました。
以上の結果，経常利益は11，448千円，特別利益は 279 千円となり，税引き前当期純利益 111,727 千円か ら法人税及び事業税3，211千円を差し引きますと，当期純利益と致しましては，8，516千円となりました。今後とも委託された業務を迅速且つ正確に処理し，水道事業に貢献し，市民の安全にも貢献できる会社としでまいります。

## 2．会社の事業

第26期事業は次の通りです。
（1）川西市上下水道局との委話契約業務
（1）休日•夜間等待機業務
延ベ 359 日
（2）年末•年始待機業務
（3）現場管理業務
延べ 6 日延ベ 359 日
（4）修蛣工事等業務
（5）修繥工事陔道路岭装復旧業務 807 件
（6）給水管改良工事業務
（7）メーター検卻業務
（8）メーター取替等業務绶水槽以下含出）
（9）閉•開栓業務
247 件
548 件
440,337 件
（11）停水装置取付•取外業務
（11）漏水防止業務（流量測定作業含む）
10，887 件 8，105 件
（12）砷震性緊急貯水槽点検作業
（13）耐震性緊急貯水槽維持管理業務
（44）下水道ボックス調整業務
（2）水道管破損修譆工事及び移設工事業務
（3）宅内修繕業務 3 件 4件
（4）給水•排水設犕点検業務 13 件
（5）受水槽清掃等点検業務（水質検査合）
1 件
42 件
19 件
（6）上下水道工事申請書作成業務 59 件
（7）材料販壳業務
（8）水道組合事務受記業務 66 件 496 件 12力月間

3．株主の状況

| 発行株式総数 | $200,000,000$ 円 | 4,000 株 |
| :--- | ---: | ---: |
| 発行済株式総数 | $50,000,000$ 円 | 1,000 株 |
| 期末現在の株主 |  |  |
| 川西市 | $32,500,000$ 円 | 650 株 |
| 川西市水道工事業拹同組合 | $15,000,000$ 円 | 300 株 |
| 株式会社池田泉州銀行 | $2,500,000$ 円 | 50 株 |

## 4．役員及び従業員

| 役 員 | 代表取締役 | 冨永誠 |
| :---: | :---: | :---: |
|  | 取 締 役 | 宮崎文雄 |
|  | 取 締 役 | 鈴木秀樹 |
|  | 取 締 役 | 辻 行 素 |
|  | 監 査 役 | 阪口廣一 |
| 従業員 |  | 18名 |

## 貸 借 対 照 表

令和 2年 3月31日 現在
（単位：円）

| 資 産 の 部 |  |  | 負 債 の 部 |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
| 科 目 |  | 金 額 | 科 目 |  | 金 | 額 |
| 【流 動 資 産】 | I | 190，411，832 | 【流 動 負 債】 | I |  | 58，989，691］ |
| 現 金 |  | 222，342 | 末 払 金 |  |  | 49，074， 503 |
| 普 通 預 金 |  | 32，410， 034 | 末払法人税等 |  |  | 105， 500 |
| 定 期 預 金 |  | 60，000，000 | 源泉税預り金 |  |  | 464，977 |
| 原 材 料 |  | 7，614，423 | 住民税預り金 |  |  | 415， 200 |
| 貯 蔵 品 |  | 146， 332 | 社会保険預り金 |  |  | 670,711 |
| 未 収 入 金 |  | 90，190， 463 | 賞 与引当 金 |  |  | 5，400，000 |
| 仮 払 金 |  | 33，000 | 未 払 消 費 税 等 |  |  | 2，858，800 |
| 末 収 利 息 |  | 18，586 | 負 債 合 計 |  |  | 58，989，691 |
| 末収法人税等 |  | 302，500 | 純 資 産 | の | 部 |  |
| 貸倒引当金 |  | $\triangle 525,848$ | 【株 主 資 本】 | 【 |  | 175，027，868】 |
| 【固 定 資 産】 | I | 43，605，727】 | ［資 本 金］ | ［ |  | 50，000，000］ |
| ［有形固定資産］ | ［ | 3，561，307］ | ［利 益 剰 余 金］ | ［ |  | 125，027，868］ |
| 建物及び⿺廴⿻肀二⿺𠃊⿻丷木物付属設備 |  | 3，337，959 | （その他利益剰余金） | $($ |  | 125，027，868） |
| 車 両 運 搬 具 |  | 17，758， 015 | 別 途 積 立 金 |  |  | $30,000,000$ |
| 工 具 器 具 備 品 |  | 5，948，463 | 退 職 積 立 金 |  |  | 6，000，000 |
| 減価償却累計額 |  | $\triangle 23,483,130$ | 事業拡張積立金 |  |  | 10，000，000 |
| ［投資その他の資産］ |  | 40，044，420］ | 社 屋建設積立金 |  |  | 30，000，000 |
| 投資有価証券 |  | 40，000，000 | 繰越利益剰余金 |  |  | 49，027， 868 |
| 預 託 金 |  | 44， 420 | 純資 産 合 計 |  |  | 75，027， 868 |
| 資 産 合 計 |  | 234，017， 559 | 負債•純資産合計 |  |  | 34，017， 559 |

## 損 益 計 算 書

自 平成 31年4月1日
至 令和 2年3月31日
（単位：円）

| 科 目 | 金 | 額 |
| :---: | :---: | :---: |
| 【売 上 高】 |  |  |
| 受託 業務収益 | 472， 362,479 |  |
| 請負業務収益 | 12，443， 183 |  |
| 受託工事収益 | 3，669，425 |  |
| 組合事務受託収益 | 130，800 |  |
| 材料販売業務収益 | 40，661，060 |  |
| 上下水道工事申諸書䏡成双益 | 895， 308 | 530，162， 255 |
| 【売 上 原 価】 |  |  |
| 当期製品製造原価 | 369，570，841 | 369，570，841 |
| 売 上総 利 益 |  | 160，591， 414 |
| 【販売費及び一般管理費】 |  | 150，080， 059 |
| 営 業 利 益 |  | 10，511，355 |
| 【営 業 外 収 益】 |  |  |
| 受 取 利 息 | 61，322 |  |
| 雑 収 入 | 875，777 | 937，099 |
| 経 常 利 益 |  | 11，448，454 |
| 【特 別 利 益】 |  |  |
| 貸倒引当金戻入益 | 278，729 | 278，729 |
| 税引前当期純利益 |  | 11，727， 183 |
| 法人税地方税等 |  | 3，210，871 |
| 当 期 純 利 益 |  | 8，516，312 |

## 販売費及び一般管理費

自 平成 31年4月1日
至 令和 2年3月31日

| 科 | 目 | 金 | 額 |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| 役 員 報 酬 |  | 9，018，000 |  |
| 給 料 |  | 27，700， 260 |  |
| 諸 手 当 |  | 19，602，760 |  |
| 賞 与 |  | 8，812，365 |  |
| 報 酬 額 |  | 34，740， 172 |  |
| 法 定 福 利 費 |  | 12，838， 332 |  |
| 福 利 厚 生 費 |  | 2，997，090 |  |
| 支 払 保 険 料 |  | 2，581，960 |  |
| 旅 費 交 通 費 |  | 165，720 |  |
| 通信 運 搬 費 |  | 891，000 |  |
| 交 際 費 |  | 78，987 |  |
| 会 議 費 |  | 356， 927 |  |
| 被 服 費 |  | 318，421 |  |
| 広 告 宣 伝 費 |  | 1，210，450 |  |
| 印刷製本費 |  | 49，236 |  |
| 事 務 用 品 費 |  | 798，570 |  |
| 燃 料 費 |  | 630，323 |  |
| 水 道 光 熱 費 |  | 1，408，681 |  |
| 消 耗 品 費 |  | 2，456，098 |  |
| 租 税 公 課 |  | 840，400 |  |
| 新 聞 図 書 費 |  | 179，439 |  |
| 支 払 手 数 料 |  | 703，436 |  |
| 諸 会 費 |  | 3，600 |  |
| 賃 借 料 |  | 286，680 |  |
| 修 繕 費 |  | 2，621，113 |  |
| 研 修 費 |  | 19，000 |  |
| 地 代 家 賃 |  | 2，177，023 |  |
| 貸倒引当金繰入 |  | 525，848 |  |
| 賞与引当金繰入 |  | 5，400，000 |  |
| 棚 卸 減 耗 費 |  | 294， 180 |  |
| 雑 費 |  | 726， 488 |  |
| 消 費 税 等 |  | ．9，647，500 | 150，080，059 |
| 合 | 計 |  | 150，080，059 |

## 製 造 原 価 報 告 書

自 平成 31年4月1日
至 令和 2年3月31日
（単位：円）

| 科 目 | 金 | 額 |
| :---: | :---: | :---: |
| 【材 料 費】 |  |  |
| 期 首 材 料 | 5，063，581 |  |
| 材 料 仕 入 | 29，209， 107 |  |
| 合 計 | 34，272，688 |  |
| 期 末 材 料 | 7，908，603 | 26，364， 085 |
| 【製 造 経 費】 |  |  |
| 減 価 償 却 費 | 2，903，723 |  |
| 受託業務費用 | $325,717,788$ |  |
| 請負業務費用 | 11，213，317 |  |
| 受託工事費用 | 2，789，900 |  |
| 上下水道工事申諸書作成費 | 582，028 | 343，206， 756 |
| 当期総製造費用 |  | 369，570， 841 |
| 当期製品製造原価 |  | 369，570，841 |

## 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自平成 31年4月1日
至和 2 2年3月31日
株主資本



自 平成 31年4月1日
至 令和 2年3月31日

1．重要な会計方針に係る事項に関する注記
（1）資産の評価基準及び評価方法
（1）有価証券の評価基準及び評価方法
時価のないもの・••移動平均法による原価法
（2）たな卸資産の評価基準及び評価方法
－••最終仕入原価法による原価法
（2）固定資産の減価償却の方法
有形固定資産•••定率法
但し，平成15年3月取得の建物については定額法
無形固定資産•••定額法
（3）引当金の計上基準
貸倒引当金 •••法人税法の規定による法定繰入率により計上しています。
（4）収益及び費用の計上基準•••収益については実現主義により認識し，費用については発生主義により認識しています。
（5）その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
（1）リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については，通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
（6）消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式により処理しておらもます。
1．1株当たり情報に関する注記
（1）1株当たりの純資産額
175，027円86銭
（2） 1 株当たりの当期純利益金額又は当期純損失金額
8，516円31銭 なお，発行済み株式数は1，000株で，すべて普通株式です。

別紙の通り報告致します。

## 令和2年5月29日

株式会社 川西水道サービス


別紙監查の結果，適法正確であることを認めます。

令和2年5月20日
監 査 役
阪口廣

## 会計監查報告

## 令和2年4月17日 取締役会より提出された，第26期貸借対照表，損益計算書，事業報告書及び秼主資本等変動計算書を監査した。

## 1．監査方法の概要

会計監査のため，会計に関する帳簿並びに書類を関覧し，計算書類について検討を加え，必要な実査照合を行い，取䋨役及び経理担当者からの報告，聴取等相当な方法 で調査した。

## 2．監查結果の意見

貸借対照表，損益計算書，事業報告書及び株主資本等変動計算書は，法令及び定 －款に適合し，会社の財政状態及び経営成績を正しく表示しているものと認める。

令和2年5月20日

## 株式会社川西水道サービス

監 查 役 阪口 廣一
## 財産目録

令和2年3月31日
株式会社 川西水道サービス

## I．資産の部

1．流動資産
（1）現金，小口現金及び受取小切手
222， 342
（2）普通預金 32，410， 034
池田泉州銀行／川西支店 32，410，034
（3）定期預金
池田泉州銀行／川西支店 60，000，000
（4）原材料
現場材料等 $\quad 7,614,423$
（5）貯蔵品
146,332
（6）未収入金
委託業務未収金等
$90,190,463$
（7）仮払金
33,000
（8）未収利息
（9）未収法人税等
（10）貸倒引当金
流動資産合計
$60,000,000$
$7,614,423$

146， 332
収入印紙•県証紙•切手

33,000

18， 586
302， 500
$\triangle 525,848$
$190,411,832$
2．固定資産
（1）有形固定資産
イ 建物
口 建物付属設備
八車両運搬具
軽自動車5台，トラック・タンク車各1台 17，758， 015
二 工具器具備品
無線機•漏水探知機•電話設備•看板 $\quad 5,948,463$
ホ 減価償却累計額
有形固定資産合計
（2）投資その他の資産
イ 投資有価証券 40，000， 000
口 預託金
投資その他の資産合計
固定資産合計
資産の部合計
2，047，500
1，290， 459
$17,758,015$
$5,948,463$
$\triangle 23,483,130$
3，561， 307

44， 420
40，044， 420
43，605， 727
234，017， 559

## II．負債の部

1．流動負債
（1）未払金
49，074， 503
委託業務費用等
（2）未払法人税等
（3）預り金
イ 源泉所得税預り金
口 市県民税預り金
八 社会保険料預り金
（4）賞与引当金
（5）未払消費税等
流動負債合計
負債の部合計
105， 500
49，074， 503
1，550， 888
464， 977
415， 200
670， 711
5，400， 000
$2,858,800$
$58,989,691$
58，989， 691

